

「システムLSI設計特別講義」の実施について

大分大学大学院工学研究科

1 目的

高度情報化社会の基本インフラとして、また、さまざまな分野の技術革新を支える基幹産業として、半導体大規模集積回路 (LSI)の重要性は益々高まっています。

本講座は、LSIの開発・設計、セット・システムへのLSIの応用、ならびにLSIに関する周辺技術の開発・サービスなどに携わる将来の技術者の育成・輩出、そして既に企業に在籍して同分野での技術範囲の拡大・技術力強化を目指している地域企業技術者の育成を目的として、体験学習を含め、システムLSI設計に必要な実践的な知識を会得してもらいます。

2 講義

(1) 実施時期 : 平成29年8月1日 (火) ~8月4日 (金) [4日間]

(2) 講師 : Professor, 益子 耕一郎氏 (Ph.D)

MJIIT (Malaysia-Japan Internal Institute of Technology)

マレーシア工科大学クアラルンプール・キャンパス

(<http://mjiit.utm.my/jp/>)

(3) 講義場所 : 大分大学工学部理工13号館 (旧工学部電気電子工学科 電子工学教室棟)

(4) 対象 : 大分大学大学院工学研究科博士前期課程の学生 (20名)

県内企業半導体関連技術者 (10名)

(計 30名)

※ 対象者は、半導体、電子回路、論理回路 やプログラミング等に関する基礎知識を保有していることが望ましい。定員オーバーの場合に、大学院生は、「半導体工学」「物性特論1」の履修者を優先して抽選を行います。

企業技術者は申し込み順を基本とします。

※ 企業技術者の申し込みについては別紙を参照願います。

(申し込み締め切り7月21日 (金))

3 講義内容

実践的かつ普遍的で陳腐化しない知識を会得してもらうため、出来るだけ実習体験を通して学習する

1. STARCのテキストを用いてLSI設計の基本知識整理
2. 業界標準のハードウェア記述言語Verilog-HDLの基本文法や構文等
3. FPGAを題材に、論理回路をハードウェアにインプリメントするまでを実践学習
4. 論理合成・シミュレーション・デバッグの設計サイクルの体験学習
5. 設計した論理回路を、FPGA 書き込み、動作の検証

「システムLSI設計特別講義」講義日程

月 日	I (9:00~10:30)	II (10:40~12:10)	III (13:10~14:40)	IV (14:50~16:20)	V (16:30~18:00)
8月1日 (火)			○	○	○
8月2日 (水)	○	○	○	○	
8月3日 (木)	○	○	○	○	
8月4日 (金)	○	○	○	○	

(別紙)

企業技術者の方の受講手続きについて

I 本講座は公開授業となりますので一般の方が受講することができます。
受講を希望される方は、申込みフォーム
<http://www.he.oita-u.ac.jp/2017aopenlec/> からお申込み下さい。右記
QRコードからもアクセスできます。



または、下記の「平成29年度前期大分大学公開授業受講申込書」をご記入のうえ郵送する
か、電子メールに申込書の情報を記入してお申込み頂くことも可能です。
電話での申込はできません。

<申込書提出先>

大分大学学生支援部 教育支援課公開講座・授業担当 宛
〒870-1192 大分市旦野原700番地
T E L 097-554-7641、8522 (受付:平日9時~17時)
F A X 097-554-7445 E-mail kyokikss@oita-u.ac.jp

II 申込書の提出期限は、**7月21日(金)**とさせていただきます。
申込書の受理後、大分大学から教室案内や受講料振込銀行口座のおしらせ等
関係書類が送られます。受講料は9462円となります。

III 社会人の定員は10名で、申し込み順で人数が埋まり次第打ち切りとさせていただきます。

**(重要) 大分県LSIクラスター形成推進会議のメンバーの方は、その旨を必ず
お伝えください**

III その他

- 公開授業については下記URLの公開授業案内を参照願います。
<http://www.oita-u.ac.jp/01oshirase/kokai.html>
- 講義内容等に関する問い合わせは、下記までお願いします。
大分大学 理工学部 創生工学科 電気電子コース 益子 (TEL: 097-554-7844)

----- 切り取り線 -----

平成29年度前期 大分大学公開授業受講申込書 (コピー可)	
授業科目名	システムLSI設計特別講義
ふりがな	
氏名	性別 男・女
年齢	10・20・30・40・50・60・70代
住所	〒 —
電話番号	() —